

各 位

鹿島建設株式会社

「鹿島建設ネイチャーボンド」発行に関するお知らせ

当社は、自社保養所である「KX-FOREST KARUIZAWA 鹿島軽井沢泉の里保養所」の建設資金のリファイナンス、並びに新たな木造フラッグシップビルとなる東北支店ビルの建替え資金を使途とするネイチャーボンド「鹿島建設ネイチャーボンド」の発行（以下、本発行）を本年3月に予定しておりますのでお知らせします。

■本発行の目的及び背景

当社グループは、事業活動や中期経営計画における施策と、SDGsをはじめとした社会課題との関連性を整理し、社会課題の解決と当社グループの持続的成長を両立させるためのマテリアリティ（重要課題）として7項目を定めています。これらのうち「脱炭素・資源循環・自然再興への貢献」に関しては、環境への取組みの基本として2013年に策定した「鹿島環境ビジョン：トリプル Zero2050」を見直し、2024年に「鹿島環境ビジョン 2050plus」として改定しました。3つの分野「脱炭素」「資源循環」「自然再興」が相互に関連しあっている（相乗効果・トレードオフ）ことを認識したうえで、2050年カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの実現に向けたグループの目標や行動計画を再構築しています。

今般、環境保全と経済活動が両立する持続可能な社会の実現に向けた取組みをファイナンスの側面からも推進すべく、当社はグリーン/ネイチャーボンドフレームワーク（以下、本フレームワーク）を策定し、ネイチャーボンドを発行することとしました。

■本発行の概要

名 称	鹿島建設株式会社第53回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (ネイチャーボンド)
別 称	鹿島建設ネイチャーボンド
発 行 総 額	100億円（予定）
発 行 年 限	10年（予定）
発 行 時 期	本年3月頃（予定）
資 金 使 途	① 自社保養所「KX-FOREST KARUIZAWA」：建設資金のリファイナンスに充当23億円（予定） ② 東北支店ビル：建替え資金に充当77億円（予定）
主 幹 事	S M B C 日興証券株式会社、大和証券株式会社、野村證券株式会社、みずほ証券株式会社
Structuring Agent	S M B C 日興証券株式会社

■ネイチャーボンドについて

2025年6月に国際資本市場協会（ICMA）が「ネイチャーに関する実務者ガイド」（Sustainable Bonds for Nature: A Practitioner's Guide）を公表し、グリーンボンドのうち、自然関連プロジェクトのみを資金使途とするものを「ネイチャーボンド」として組成することが可能となりました。

自然関連プロジェクトとは、生物多様性、生態系、生態系サービスの回復と保全等に資するプロジェクトとされております。当社グループが「鹿島環境ビジョン2050plus」に掲げる「ネイチャーポジティブの実現」の一環として取り組んでいる自社所有地での自然再興にかかる業務用不動産への投資計画については、自然関連プロジェクトとして認められるものであり、今般、同投資計画への充当資金の一部をネイチャーボンドにより調達することといたしました。

■ネイチャープロジェクトの概要：資金使途①自社保養所「KX-FOREST KARUIZAWA」

本施設は、豊かな自然が残る自社所有地に周囲に溶け込んだヴィラタイプの宿泊棟をゆったりと配置し、静寂な森の中に佇む良質なリゾート空間を創出しました。

また、社員の更なる余暇の充実や柔軟な働き方の実現、福利厚生の拡充等によるワークライフバランスやエンゲージメントの向上を目指した社有施設として整備しました。

本施設は「鹿島環境ビジョン 2050plus」に基づき以下の4つの取り組みを行うことで、木材のサーキュラーエコノミーだけでなく、CO₂-SUICOM^{※1}の適用拡大も実現しました。

1. 社有山林、現地伐採木を活用した木造宿泊施設の新築及び既存木造施設の改修
2. 国内宿泊施設初の国際的な環境認証「SITES」の最高ランク「プラチナ」を取得
3. 国土交通省が2024年度に創設した「優良緑地確保計画認定制度（TSUNAG）」の最高ランク「トリプル・スター」を取得
4. 金沢工業大学のセメント系3DプリンティングとCO₂-SUICOMを組み合せた人道橋の構築

※1 当社らが開発した、固まる過程でCO₂を吸収・固定化してCO₂排出量を実質ゼロ以下にすることができる世界初のコンクリート

【KX-FOREST KARUIZAWA 全体図】



【施設概要】

施設名	KX-FOREST KARUIZAWA 鹿島軽井沢泉の里保養所
場所	長野県北佐久郡軽井沢町
設計者/施工者	当社
敷地面積	20,288 m ² (6,137 坪)
建物	宿泊棟（新築）14棟、共用棟（改修）1棟
構造	木造
竣工年月	2024年10月

■ネイチャープロジェクトの概要：資金使途②東北支店ビル

本件は、東北エリアを統括する事業拠点として、三度の大地震（宮城県沖地震、東北地方太平洋沖地震、福島県沖地震）に見舞われながらも50年以上にわたり機能してきた東北支店ビルを純木質耐火集成材を採用した本格的な木造建築に建て替えるものです。新たなビルは、日本の伝統建築から着想を得た新開発の木造制震構造「欄間制震システム™」（特許出願済）を初採用し、超高層ビルと同等の耐震設計基準を満足する、高い安全性を有する当社の木造フラッグシップビルとなります。既存社屋が担った災害拠点としての機能も引き継ぎ、地域の安全安心なまちづくりに寄与すべく、2026年秋に着工、2028年度内の竣工を目指します。

また、当社グループが保有する社有林である「日影山山林・ボナリ山林」等の木材を活用し、持続可能な森林経営に貢献します。さらに、グリーンビルディング認証取得を目指し、環境（E）への貢献を推進します。

【木造検討イメージパース】

新東北支店ビル外観



木の多柱空間で構成されるウェルネスオフィス内観



【建替え概要】

場所	宮城県仙台市青葉区二日町 1-27
設計者/施工者	当社
用途	事務所
延床面積	8,871.98 m ²
構造	木造（制震構造）一部鉄骨造
規模	地下1階、地上9階
竣工	2028年度内

■ネイチャーボンドとしての適合性について

当社は、本発行にあたり、ネイチャーボンド発行のために国際資本市場協会（ICMA）が定める「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2025」、「ネイチャーに関する実務者ガイド（Sustainable Bonds for Nature: A Practitioner's Guide）」及び環境省が定める「グリーンボンドガイドライン（2024年版）」に即したグリーン/ネイチャーボンドフレームワークを策定するとともに、株式会社格付投資情報センターから、上記原則等に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しております。

本フレームワークの詳細につきましては、以下のURLをご参照ください。

<https://www.kajima.co.jp/ir/grading/gnb/framework/index.html>

以上